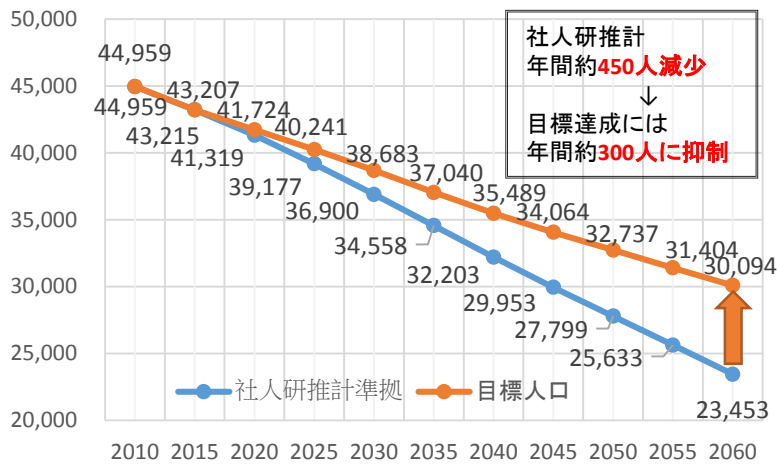


1. 市の人口の将来展望



2. 市のこれまでの取組や社会情勢等

<国内の動向>

- ・人口減少社会への突入
- ・東京一極集中の是正、地方創生の取組み
- ・訪日外国人の増加
- ・北陸新幹線開業
- ・2020東京オリンピック・パラリンピック
- ・東日本大震災、熊本地震を踏まえた国土づくり
- ・情報通信技術の飛躍的な進展
- ・働き方改革

<これまでの取組>

- ・魚津市自治基本条例制定
- ・全地区に地域振興会設立
- ・在来線の3セク化(あいの風とやま鉄道)
- ・学校規模適正化の推進(小学校統合)
- ・タテモン行事のユネスコ無形文化遺産登録
- ・全国植樹祭の開催

<市を取り巻く社会情勢>

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・市民参画と協働
- ・安全・安心に対する意識の高まり
- ・経済環境の変化
- ・地球的環境問題
- ・SDGsの推進
- ・Society 5.0の実現に向けた取組

3. これまでにいただいたご意見

<市民意識調査>

・魚津市の良いところ、自慢できるところ

- ①自然災害が少ない ②水がきれいでおいしい ③自然環境が豊か

・魚津市の悪いところ、改善すべきところ

- ①観光資源が活かしていない ②交通の便が悪い ③出産・子育ての環境が良くない

・魚津市の将来像

- ①高齢者や障がい者など全ての人が安心して暮らせる「福祉のまち」
 ②企業立地を促進、商工業、サービス業などが活発で働く場に恵まれた「産業のまち」
 ③子育て支援が充実し、安心して子どもを産み育てられるまち…「子育てが安心なまち」

・今後10年間で重点的に取り組むべきこと

分野	選択項目		
	1位	2位	3位
市民参画・行財政運営	持続可能な財政運営 (52.8%)	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大(45.5%)	公共施設の再編(27.3%)
産業振興	企業誘致の推進(38.8%)	雇用、就業支援(28%)	起業支援、後継者対策(23.2%)
都市基盤整備	空家・空地対策の推進(59.3%)	電車、市民バス等の公共交通の充実(40.7%)	道路の整備や拡充(18.6%)
防災・地域の安全	自然災害対策(45.3%)	通学の安全対策推進(24%)	地域防災力の向上(22.6%)
医療・福祉・子育て	社会保障制度(医療・介護)の適切な運営(40.2%)	妊娠・出産に対する支援の充実(29.5%)	高齢者福祉の充実(28.6%)
教育・文化	確かな学力の育成(30.2%)	学校教育環境の整備(29.8%)	英語教育・ICT教育などでの先進的な取組み(26.2%)
自然環境	リサイクル等による資源活用等の推進(31.5%)	廃棄物の減量化(28%)	森林環境や生態系、水循環の保全(26.1%)

※本調査項目は、選択項目の中から2つまで選ぶ複数回答方式による。

※詳しくは第2回審議会「資料2 市民意識調査結果(概要)」を参照

<審議会>

- ・市民がまちづくりを自分ごととしてとらえること
- ・幅広い年代が意識を共有していくこと
- ・広域的な枠組みでの事業実施が必要
- ・元気な高齢者に活躍してもらう
- ・何でもやるのではなく取捨選択を
- ・地域コミュニティ維持のための取組(小学校統合)
- ・横のつながりをコーディネートする機能の必要性
- ・魚津のメリットを示して企業誘致を
- ・稼ぐ力を重視。若い人のアイデアを

- ・労働力不足、1次産業の後継者問題が深刻
- ・若い年代の定住につながる環境づくり
- ・海と山の資源を活かせる交通網整備
- ・学びの森の利活用

<タウンミーティング>

- ・公共施設の再編
 - 廃止施設の代替機能の確保
 - 民間委託の活用

・市の財政状況

- 施設使用料の見直し
- ふるさと納税の推進

・企業誘致

- 若者のUターンにつながる誘致推進
- 今ある企業が出ていかないような施策

その他意見交換会等

- ・市民にわかりやすいキャッチフレーズがほしい。
- ・策定した後、市民に浸透するようにしてほしい。



4. 市の主要な課題(案)

○市民参画・協働の推進

地域コミュニティの弱体化、人間関係の希薄化、市民自治の推進、企業や団体との協働

○地域の資源を生かしたまちづくり

地域資源の活用、魚津の魅力を市民一人一人が発信、自然環境の保全

○持続可能な行財政運営の推進

人口減少の進展を見据えた行財政運営、財政健全化や公共施設再編の推進、最適な行政サービスの提供

○子育てがしやすいまちづくり

結婚・妊娠・出産への支援、子育て支援、産み育てやすい環境づくり

○明日を担う人づくり

学校教育、ICT環境整備、ふるさと教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興

○産業振興による活力あふれるまちづくり

企業立地・起業支援、農林水産業の振興、中小企業の経営基盤強化、労働力不足の克服、既存ブランドの価値向上、安定雇用

○快適で暮らしやすいまちづくり

空き家対策、都市基盤整備、住宅対策、コンパクトシティの形成、公共交通網の維持、住環境整備

○安心・安全なまちづくり

防災・減災、交通安全対策、犯罪の抑止

○誰もが健康でお互いに支え合うまちづくり

健康づくり、医療・介護・福祉の充実、地域包括ケアシステムの構築、認知症対策

○人口減少時代におけるまちづくり

人口減少時代の進展、少子高齢化の進展、東京一極集中、移住・定住の推進、関係人口の創出